

化学生命工学部

2.DPを含むアセスメント結果の活用

| 方法・指標 | 実施時期 | 対象年次 | 結果の活用 |
|---------------|--------------|-------------------|--|
| 入学時・卒業時・パネル調査 | 10月～ 1月の間 | 1年次 3年次 卒業生 | 教授会での報告を受けて、執行部において議論・検討を行い、カリキュラム改善や学習環境の充実に活用する。 |
| 基礎学力調査 | 4月 | 1年次 | 基礎学力の把握と基礎科目のクラス分け、分析・検証 |
| 個人面談 | 3月 | 1～4年次 | 成績不振者を含めて、全員に対して毎学期、担任による個人面談を行い、各自の状況を把握する。 |
| 成績不振者調査 | 各学期 | 1～4年次 | 単位取得が思わしくない学生の状況を把握、改善を促す。また、学習環境の充実に活用する。 |
| 授業評価アンケート | 年2回 | 1～4年次 | 結果のフィードバック、授業改善 |
| シラバスチェック | 2月 | 1～4年次 | CPとの整合性、カリキュラムの改善、自己点検・評価 |
| 特別研究の評価 | 2月 | 4年次 | 卒業論文と口頭発表により、主体的な態度、及び思考力・判断力・表現力等の能力を多角的に測定・分析し、評価する。 |
| 進路状況 | 学期末 | 4年次 | 支援強化、自己点検・評価、情報公開 |